

鳥取県知事 様

境港市長 伊達 憲太郎

島根原子力発電所 2 号機において計画するプルサーマル発電への
意見について（回答）

令和 8 年 8 月 26 日付第 202600132212 号で依頼のあった標記の件については、下記のと
おり回答します。

記

（中国電力に対する意見）

1. 科学的根拠に基づく情報公開と丁寧な説明の徹底

ウラン燃料と MOX 燃料の特性の違いによる過酷事故時の環境への影響等について、市民
に分かりやすく丁寧な説明を継続すること。

また、国等が示す公的なコスト比較資料等を活用し、コスト構造や電気料金等への影響
について分かりやすく説明すること。

2. 法令手続等への真摯な対応と説明

今後実施されるプルサーマル計画に関する設計及び工事の計画の認可、保安規定の変更
認可等の各種手続に真摯に対応し、審査の節目や審査終了時に具体的で分かりやすい説明
を行うこと。

3. 更なる安全性向上に向けた不断の取組とヒューマンエラー防止対策の徹底

新規制基準への適合にとどまらずバックフィット等により更なる安全性向上に努めるこ
と。

また、ヒューマンエラーは起こり得るとの前提に立ち、模擬燃料訓練の実施や客観的チ
ェック機能の強化により事故防止対策を徹底すること。プルサーマル発電は初めての運転
となることから発電所の安全性を確保するため、組織、人員体制、技術習得、教育訓練、
人材育成といった組織的・人的能力の向上を図るとともに、コンプライアンス・安全文化
の定着を図ること。

4. 使用済 MOX 燃料の確実な安全管理及び核燃料サイクルの確立

使用済燃料プールにおける安全な冷却・管理を徹底すること。

また、使用済 MOX 燃料について国と連携のうえ明確な搬出計画と基本方針の具体化に努
め、敷地内での長期保管・留め置きに対する住民不安の解消に主体的に取り組むこと。

核燃料サイクルについては、使用済燃料対策及び最終処分を確実に実施できるよう国や
他の電力事業者と連携し、責任をもって対処すること。

5. その他

運転期間及び高経年化に係る法令手続きとプルサーマル計画については別個の手続きと
して対応し、双方の全体スケジュールについて誤解が生じないよう分かりやすく整理して
説明すること。

プルサーマル計画の実施にかかわらず、特定重大事故等対処施設の早期整備に努めるこ
と。

(国への要望)

1. プルサーマル計画に対する厳格な審査の実施と国民・住民理解の促進

規制当局は今後の設工認・保安規定変更認可等において MOX 燃料の健全性や品質保証体制等を厳格かつ客観的に審査し、その結果を住民に分かりやすく説明すること。また、政府はエネルギー政策の観点から安全確保および国民・住民の理解促進に責任をもって取り組むこと。

2. 使用済燃料対策及び最終処分の確実な実施と、核燃料サイクルに係る国の主体的な対処

使用済 MOX 燃料の再処理技術の確立や最終処分等の構造的課題について国が前面に立って対処し、敷地内での長期保管が固定化しないよう確実な搬出に向けたロードマップを明示すること。あわせて、プルトニウムの有効利用を含め住民へ丁寧な説明を行うこと。

3. 周辺自治体（UPZ）に対する支援及び必要な財源措置の確実な実施

周辺自治体の意向が反映される法的な仕組みの整備や位置づけの明確化を推進すること。また、同等の防災対策を行う周辺自治体の実情に鑑み、地域特性に応じた防災体制維持や避難対策のため、十分な支援および交付金等相応の財政的配慮を確実に実行すること。